

しめ

平成28年(2016)2月1日発行
第77号 福岡県志免町議会

議会だより



初優勝 志免union(バレーボール)

12月定例会

- 補正予算 安全で快適に暮らせるまちを
2億3528万4千円増 p2~3
- 条例改正
課設置条例の改正外6件 p5
- 議会あれこれ
第6回議会報告会 p16~17

会計補正予算

暮らせるまちを

総額126億939万8千円

賛成多数で可決

賛成12人 反対1人

主な歳入

- 障害者自立支援給付金 **4945万5千円**
国庫支出金 3296万7千円
県支出金 1648万8千円
- 財産運用収入として
財政調整基金の国債、地方債の売却、利子 **877万8千円**
- 財政調整基金繰入金 **1億2000万円**
- 別府上井堰維持管理基金繰入金 **319万2千円**

12月 定例会

12月定例会は4日から15日まで12日間の会期で開かれました。
議案12件可決。意見書2件否決。
一般質問は12月7日、8日の2日間で6人が行いました。

債務負担行為

※予算の先取りを行う行為

環境監視作業業務委託料

379万3千円

環境監視員2名分

29年3月31日まで

屋外トイレ清掃委託料

698万5千円

公園トイレ22ヶ所

29年3月31日まで

ALT委託料

869万7千円

外国語指導助手委託料

29年3月31日まで

会計補正予算

55万2千円増 総額55億868万円

142万3千円増 総額5億4714万4千円

10億197万9千円(事業収益1万) 歳出10億928万7千円(事業費206万1千円)

安全で快適に

2億3528万4千円増

主な事業

交通安全施設整備事業

590万円

カーブミラー、グリーンベルト設置工事

学校給食管理事業

207万9千円

児童生徒増加に伴う備品・消耗品購入

私立教育保育施設運営事業

2733万8千円

負担金、補助及び交付金
保育実施負担金

情報化推進事業

358万2千円

システム改修業務委託料

防犯灯新設及び維持管理
支援事業

607万4千円

町内会からLED化要望が多くなった

小中学校エアコン設置事業

1054万1千円

設計業務委託料

臨時議会

平成27年11月24日一般会計の補正

賛成多数で可決
(賛成12：反対1)

再提案

9月議会で撤回された事業
小中学校エアコン設計事業
(設計委託料)

1054万1千円

反対討論	助村議員
	<p>学校エアコン設置設計業務委託料が上程。総事業費は3億3千万円。改造工事の度に断熱化等暑さ対策を幾度も提案。しかし費用が上がるとの事だった。</p> <p>子どもの健康面から良いのか、厳しい財政状況の折エアコン設置よりも児童生徒の事で、もっと先に行う事があると思う。</p> <p>将来の財政を考えると何を縮小するのか提示されていない。</p>
賛成討論	牟田口議員
	<p>現代の子どもたちは暑い中での勉強となると集中力が落ちる。</p> <p>勉強環境をつくってあげることによって、町外からの流入も、子育て世代の方々が住みたい、子どもを育てたいという憧れの町になる。</p> <p>学校環境の整備が大事。</p> <p>調査設計の結果、その後を検討すればよい。</p>

農業用導水路工事費
(導水管内モルタル充填工事)

1000万円

平成27年度特別

- ・国民健康保険
- ・後期高齢者医療
- ・水道事業

全員賛成
賛成多数(12:1)
全員賛成

歳入歳出
歳入歳出
歳入

主な議案

工事請負契約の締結 浦尻池導水路モルタル充填工事 6501万8160円

ヒューム管のまわりが空洞化していたため、モルタル充填量を増量したため増額契約金額が5千万円以上となったため、地方自治法に基づき議決を求める。

契約相手方 TSUCHIYA株式会社

12月定例会賛否結果表

議案名	水道事業会計補正予算	後期高齢者医療特別会計補正予算	国民健康保険特別会計補正予算	一般会計補正予算	議会議員の日当の改正	町税条例の改正	国民健康保険高額療養資金貸付基金条例	公務災害補償等に関する条例	課設置条例等の改正	いじめ防止等対策推進条例	特定個人情報に関する条例	浦尻池導水路工事
○⇒賛成 ●⇒反対 →退席 欠⇒欠席												
採決・結果	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決
近藤 辰也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寺田 秀和	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
牟田口武史	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
安河内信宏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
吉田 大作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
助村千代子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
野上 順子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
丸山真智子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
牛房 良嗣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大西 勇	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
古庄信一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二宮美津代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
未藤 省三	○	●	○	●	○	●	●	○	●	○	●	○

お詫びと修正

前号の「議会だより」第76号で、古庄議員の決算への反対討論の内容が、十分でなく誤解を招きました。お詫びし、反対の要点を再度掲載いたします。

- ①予算流用と予備費充当が、倍近くの増。安易に乱用され、組織、職員の意識が軽薄化。
- ②西小外堀、正門歩道切り下げ工事で、当初予算の4割近い増額が、議会の承諾もなく、翌年の決算議会で初めて報告。
- ③中の坪公園の工事費が増額。工期も延長、請負会社は同時期に次の焼却場工事も請負う。工期と入札発注の仕方に疑義。
- ④焼却場跡地整備工事で、2千6百万円もの追加工事が、議決もせず押し進められ、議会に諮られた時には既に9割の工事が終了。町長給与減額。
- ⑤車借上料に於ける議長のタクシー代は予算の2倍、前年度の3倍、78万円も使用され、増の理由も不明、私的も。

条例

特定の個人を識別する個人番号の利用及び特定個人情報に関する条例の制定

町の事務において個人情報を取扱うため、必要な事項を定めるもの

法附則第1条第4号規定の日から施行

税条例の改正

地方税の徴収猶予と換価の猶予等についての取り決め及び身体障害者等に対する軽自動車税の減免、固定資産の特例等の改正を行う

平成28年4月1日施行

課設置条例等の改正

第五次総合計画後期基本計画を効率的に推進するため行政組織及び課を見直すため

地域交流課をまちの魅力推進課

生活環境課を生活安全課に変更する

平成28年4月1日施行

議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の改正

地方公務員災害補償法が改正されたため整備を行い、全共済年金と厚生年金の統合により被用年金制度の一元化等を図るため

平成27年10月1日施行

国民健康保険高額療養資金貸付基金条例の改正

貸付の利用が減少しているため、貸付基金を600万円から200万円に改める

平成28年4月1日施行

議会議員の報酬及び費用弁償等条例の改正

議員の県外滞在期間中の日当の減額を行うもの

平成28年4月1日施行

いじめ防止等対策推進条例の制定

いじめ問題対策連絡協議会及びいじめ問題専門委員会を置く条例の制定

平成28年4月1日施行



教育相談室

要な課題

(太字は委員会の要望、要請)

総務文教委員会

空き家問題

各部門で所管課が異なっている

27年10月1日現在、空き家98件、住民提供が60件その内10件が解決。

現在危険廃屋指定は3件。

11月4日に委員会で東区町内会の視察を行った。

現場を見て、危険廃屋は総務課。

家はしっかりしているが草や木の生えているのは生活環境課。

利活用は経営企画課となっている。

危険廃屋等を含む空き家全体としての対策は、所管課が異なっているのが現状である。総合計画の後期計画で新たに組織編成に取り組むとの報告を受けた。

個に応じた教育

先生が足りないのでは

今回は、小中連携で個の実態に応じた生徒指導の推進について①通級による指導②通級による指導の教育課程の基本的な考えを審査した。10月の統計で特別支援学級は、小学校105人、中学校27人、通級による指導は小学校71人、中学校25人。現在先生は西小2人、南小2人、東中1人、他の学校はこの先生たちが向いて指導している。

西小、東中、南小の通級を視察、先生たちに現状を伺った。委員会としては今後とも注視していく。



西小学校通級学級

小中学校エアコン設置

財源が厳しい中、正しいのか

9月の補正予算において執行部が撤回し、その後の調査として次回提案されるまで付託案件として調査研究をすることにした。

町長の答弁として、例年暑い時期は生徒と先生は慢性的な熱中症予備軍になっている。都市圏もほとんど設置や設置を前提に調査設計されている。財源の問題はもっと増やすことに取り組んでいくので子どもたちに快適な教育環境を作っていくことの事。

財政が苦しくなる中これだけの事業を行うのが正しいのか、補助金等の勉強もするべき、全国的な状況を見るときも少し時間をかけるべき等々意見が出された。

議会運営委員会

特別委員会を設置

12月定例会は、会期を12月4日～15日までの12日間。一般質問は6人。審査日程は第69号議案と71号議案は所管が経営企画課で取り扱いが各課にまたがっており、全員による特別委員会を設置し、審査することとした。

一般質問終了後、全員協議会を開催し「第5次総合計画後期基本計画」と「地方創生人口ビジョン」。総合戦略策定の中間報告を受ける。



総合計画と地方創生人口ビジョン

委員会報告 (調査・研究)

町の重

厚生委員会報告

高齢者見守り推進事業 今後の活動推進の 道筋が重要

70歳以上、単身者及び75歳以上のみ世帯の情報提供については現在10町内会となった。

委員会として、町内会に対し、見守りの指針を示してはどうか、に対し、地域により対象者や支える側に様々な状況があり、一律の指針というのは難しいが、先進地の事例など積極的に町内会へ提供したい。また、28年度にかけて社協と地域福祉、地域福祉活動計画を策定していく中で重要性を訴えていく。

地域で行っている見守り活動について実態を把握し、今後の見守り活動推進の道筋を示すことが重要だと指摘があった。

地域包括ケアシステム について

認知症の早期発見と 支援

困難事例などの検討を通してケアマネジメント支援や地域の課題の抽出を行う「地域ケア個別会議」と市町村レベルでの政策形成につながる「地域ケア推進会議」の2本立てで取り組むことになっている。

「認知症施策」については、認知症の方を早期に見出し、早期により良い支援につなげるため認知症初期集中支援チーム設置に向けて協議を行っている。

要支援1、2の方が受ける予防給付、通所介護・訪問介護の地域支援事業への移行については、事業所に大きな影響を与えないような意向を考えている。

通知カード・個人カードの配達される11月初旬からは、電話または来訪の相談の増えることが予想される。

会計課横の情報コーナーに



会計課横の相談窓口

期間を限定し、相談窓口を設置し対応する。
詐欺に対する対応は全庁的に対策を検討していく。
トラブルに対する対応など町民へのわかりやすい親切な対応を要請した。

議会広報特別委員会

研修を活かす

広報委員会は、9月議会終了直後から10月下旬にかけて、しめ議会日より76号の作成を行った。

平成27年10月20日、21日においては、東京千代田区の砂防会館にて開催された町村議会広報研修会に参加した。

また、11月25日は、福岡県町村議会議長会主催の町村議会広報研修会にも参加。

ここで得た情報・知識を今後の紙面に活用していきたいと思えます。



研修会場(砂防会館)

ズバリ町政を問う

二宮美津代 議員 ————— 9P

- ①子どもの貧困対策
- ②老人クラブ活動への支援

丸山真智子 議員 ————— 10P

- ①町の未来(主に今後10年)と町政運営
- ②町民図書館 25周年に向けて

牛房 良嗣 議員 ————— 11P

- ①地方創生への取り組み
- ②育児支援
- ③幼児・小中学生の英語学習

助村千代子 議員 ————— 12P

- ①緊急医療への対応
- ②農業委員会制度の改正
- ③公共施設マネジメント

古庄信一郎 議員 ————— 13P

- ①志免町の将来像と合併への所見と行政組織
- ②地方創生への取り組み

末藤 省三 議員 ————— 14P

- ①地方創生について
- ②医療費の無料化(中学卒業まで)
- ③教育について

会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。
詳細は会議録(HP・図書館・各公民館に置く)をご参照ください。掲載は質問順としています。

一般質問とは議員が町政全般(一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など)について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いた다는ことです。
質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で1問1答で行います。

※桜は志免町花です



二宮 美津代 議員

子どもの貧困対策推進法への対応は 答弁／検討ししっかり取り組む

二宮 子どもの貧困についての定義をどう捉えているのか。

町長 生活環境によって左右される子どもの状態と思う。

二宮 志免町の子どもの貧困率は。

子育て支援課長 調査していない。

福祉課長 生活保護を受給する17歳以下の子どもは204名で2.3%となる。

二宮 ひとり親家庭、特に母

子家庭や低所得者家庭等へのアンケート調査をし実態を把握すべきでは。「子どもの貧困対策推進法」では町の責務として、計画を立て対応すべきとなっている。

町長 どう取り組むか、しっかり検討し取り入れていく。

二宮 フードバンク事業への参入についての考えは。

子育て支援課長 NPOや社団法人での取り組みがあつている。それらの団体で立ち上げられると思う。



先進国でワースト

二宮 貧困家庭への食品提供は最低限の生活保障。

本来行政が担うべきとの指摘もある。

住民に一番近いのは町、そのトップである町長の考えは。

町長 実態調査による訪問支援、食事の提供、個々への支援は必要である。

二宮 次世代を担う子どもたちの笑顔あふれる志免町を。

老人クラブ会員減への対応は

答弁／事あるごとに加入の促進を行う

二宮 厚労省調査でも全国的狀況にある、老人クラブ会員の減少問題についての対応は。

町長 一つ考えられるのは、70歳まで現役、老人クラブに入るのはまだ早いとの思いがある。事あるごとに加入の促進を行う。

二宮 60代会員増に向けて、「元氣なシニア条例」等制定の考えは。

町長 会員が増えるきっかけとなれば良いがと思う。

二宮 子育て、お年寄りへの支援不足だと感じる子どもアンケートもある(第5次総合計画への回答)町長の見解は。

町長 足りない部分もあると思う。反省し今後の施策を行う。



丸山 真智子 議員

厳しい財政状況への取組みは 答弁／中期財政計画で健全化を図る

丸山 選挙後7カ月、町政刷新を訴えられていたが、少しは変わったのか。

町長 職員に意識改革を訴えたが、少し変わってきた。

丸山 粕屋町長選挙は合併で10万都市を目指す新町長が誕生した。

隣町の町長としての思いは。

町長 新町長は合併推進派ということだが、私も将来的には粕屋地域を一つにまとめた方がいいと思っている。

丸山 中期財政計画（H27年度（H31年度）では財源不足が23億2,000万円に増え、貯金が6億円となっている。

健全化で財政調整基金（貯金）残高を17億7,000万円堅持としているが、説明していただきたい。

経営企画課長補佐 基金の効率的な運用、民間資金やノウハウの活用や公共施設等の効果的・効果的な管理運営などに取組む。

丸山 厳しい財政状況で健全化の目標が掲げているが全職

員に共有化されているのか。

町長 少し疑問が残るので今ははっきりと取組む。

丸山 町民と共有することも大事。

財政健全化への取組みを情報発信する必要がある。

町長 出前トークで説明する。

丸山 老年人口が増える中、就労や社会活動で支える側に変わる施策、健康寿命の延伸で医療費が縮減されることは

財政問題にもつながる。

保健師を増やしたり、県70歳現役応援センターやシルバー人材センターの活用、ボランティア活動の推進をしていただきたい。

町長 健康寿命を伸ばすことは大事な問題だ。

町民図書館開館25周年行事は

答弁／特別に何かやることはしない

丸山 町民図書館がオープンして来春で25年。祝賀行事等を考えているのか。

社会教育課長 毎年行う子ども図書館まつりに25周年という冠をつけて開催する。



子どもたちの標語



牛房 良嗣 議員

英語先進地へ一步の決断を

答弁／前向きに進めて行く

牛房 志免町の地方創生の長期ビジョンと具体的施策の取組について問う。

町長 国の人口は、減りつづけ50年後には一億人を割りこむ。

町が元気になるには人口増のための定住化策が必要。出産・子育て子どもに優しい支援をと考える。

牛房 増加を続けてきた町の人口も福岡市からの転入者の減少により横ばい。上昇か、減少かの重大な岐路に立っている。

以下子どもをふやし育てる9項目の提言。先ず若い世代の育児支援について。

(1)発達障害児への対応として、パワフルキッズやPK

2の待機児ゼロを。

(2)病後児保育施設の早期整備。

(3)年少児(0才〜2才)の待機児を解消する、以上3項目は健常者待機児と異なる大きな問題、最優先解決を要請。

町長 福岡市、近隣市町にもお願いし早期解消へ努める。

牛房 次は子育て問題へ提言

(4)幼稚園、保育園の保育料の無料化、大幅軽減見直しを。小中生の義務教育同様に義務保育として国の負担が当然。

(5)子ども2人以上又は父子母子家庭への家賃を町が助成。

(6)園児の早期英語学習へ町の助成を。

町を英語先進町に。

町長 前向きに進めていく。

牛房 次は子どもの教育。

(7)小学一年生から英語の学べる特例校の指定を。

町長 学校長とも相談したい。

牛房 (8)マンモス校の志免中、中央小、西小へ補助教員の増員で学校間の差をなくすこと。

(9)パワーアップスクール(町内会学習支援教室)実践する町内会へ積極的支援を。

牛房 国の20年後の出生率目標は2.1。平成25年の全国平均1.43志免町は1.77と国の目標に最も近い町。

早期2.1を突破し全国自治体に希望と勇気を与える町を目指して頂きたい。

町長 青少年育成助成金で検討する。

牛房 国は20年後の出生率目標は2.1。平成25年の全国平均1.43志免町は1.77と国の目標に最も近い町。

早期2.1を突破し全国自治体に希望と勇気を与える町を目指して頂きたい。

町長 青少年育成助成金で検討する。



園児の早期英語学習



助村 千代子 議員

失敗のない公共施設管理計画を 答弁／町民に理解得られる様取組む

助村 公共施設は老朽化が進む中、少子・高齢化により利用需要の変化の予想を踏まえ、公共施設等総合管理計画が策定中だが、計画策定と事業実施が別の部局となり計画が思う様に進むのか。

経営企画課長補佐 策定した計画を効果的に推進するためには、全庁的な体制が重要。組織横断の会議で協議する。公共施設等の一元管理を行う部署を定める予定。

助村 適切な公共サービスの提供と安定した財政運営を両立させるために、公共施設の維

持管理（利用頻度・ランニングコスト・人件費等）に公共施設マネジメントを導入が急務と思う。

経営企画課長補佐 施設情報コストを含め運営・利用状況を調査中。

助村 エレベーター、浄化槽等の種々の保守点検がばらばらに委託されていると思う。包括施設管理業務委託で、契約事務を圧縮できるが。

総務課長 管理委託は今は各所管課で対応している現状。

農業委員に農業女性の登用を

答弁／協議し検討していきたい

助村 農業委員会等に関する法律が改正され、当町は29年から適用。改正点は。

都市整備課長 選出方法が公職選挙法から、議会の同意を要件として、首長が任命する。

助村 選任への過程は。

都市整備課長 地域の農業者、農業団体等に候補者の推薦を求めている公募と自薦公募。

助村 農業委員会法第9条に年齢性別に著しい偏りが生じない様に考慮しなければならぬ、女性をはじめ青年などの人材が登用される様に明記されている。

町においても、男女共同参画推進条例・みんなの参画条例執行規則にも同様の事が明記されている。

農業者の中から複数の女性農業委員が選出できるよう体制の整備を。

都市整備課長 農業委員会の中でも協議し検討したい。



農業委員会に女性を



古庄 信一郎 議員

町民の所得が上る政策を 答弁／今後担っていくべき事業だ

古庄 志免町に住みたくない理由のトップは「町に魅力を感じない」が40・8%。この評価をどう変えるか。町の将来像について4点を挙げて伺う。

まず歴史館でSL機関車の放出、歴史資料館の検討は後退。

歴史を疎かにする自治体の発展はないと思うが。

町長 炭鉱・古墳等の町の歴史を引き継ぎ町外から人が訪れる。これも産業振興になる。

古庄 町に住みたくない理由

の2番目が「交通アクセス」。町の真ん中を走る緑道の斬新で大胆な活用等も含め、空港拡張を捉え、地域環境として関連するテーマを考え、町おこしに繋げるべき。

町長 安全にゆとりある居住空間の整備、アクセスの整備が環境整備では大事だ。

古庄 人口構成で、全体では微増だが、5年前から人口減少が続いている町内会は30町内会中18町内会、西小学校区でも10町内会中5町内会が減少。また生産年齢も1割減少。地域が抱える現状を把握し、色んな課題を共有集約したうえで町政を担って行くために、町職員が各町内会を担当する制度を推進すべき。

町長 素晴らしい提案だ。検討したい。

古庄 産業構成で、粕屋郡7町での人口は1位だが、人口一人当たりの所得は4位、就業者の所得は何と最下位。総体的に粕屋や新宮町に劣る。所得が上がる政策を展開すべき。

町長 所得の拡充は必要で、今後担っていくべき事業だ。

古庄 町の組織を見ても収入に対する感覚が希薄。

商工に対する前向きな検討を庁内で行ったことがあるか。

経営企画課長 産業振興ではない。

古庄 人口微増の中、第三次産業育成には他から人を呼べる事業を推進すべきで、「しく麺グランプリ」に町及び職員がなぜ協力しないのか。

町長 しっかりお手伝いする。

古庄 財政的に厳しい時期、町民と一緒にやって所得と税収を上げる感覚が行政にあるのか。

町は全体的に産業振興のコーディネートをすべき。

町長 指摘の4点は、職員一丸となって協力し取り組む。



志免町人口ビジョン



末藤 省三 議員

中学卒業まで医療費の無料化を 答弁／糟屋郡内の町長会で結論を出す

末藤 中学校の医療費の無料化について、糟屋郡内での医療費の格差が出ているが、統一した話し合いや、志免町としてどう考えているのか。

住民課長 子どもの医療費の助成について、志免町では就学前の通院、入院、それと町単独で、通院は県の制度で、小学校6年生までの入院を町単独で実施している。

28年度から小学校6年生まで、入院と通院を県の助成を拡大するので、それに合わせて糟屋地区でどのようにしていくのかを協議している。

末藤 糟屋郡内の市、町長会ではどうなっているのか。

町長 中学校までの医療費無料化（助成）について、町長会としては現在担当者の方で協議している。

糟屋6町で足並みを揃えていこうと、一人の患者が町が違うだけで助成が違っては困るということで現在担当者レベルで協議を行い、最終的結論は町長会で出す段階。

末藤 県下で中学以上の医療費無料化している自治体名は把握しているか。

住民課長 今資料は持ち合せていないが、糟屋郡内では古賀市が高校生まで医療費の一部を助成している。

消費税増税で住民の暮らしは

答弁／家庭には影響がでてくる

末藤 消費税増税を含めて地方創生（アベノミクス）の弊害は、住民に与える影響が大きいのではないかと。

これから夢のある志免町をつくっていく、スピード感をもって経済を支えていくというところであるが地方創生をどのようにみているのか。

町長 地方を元気にし、雇用を生み、将来的な人口流出を防ぐ。その辺を取り組む。

末藤 消費税10%増税について住民の暮らしはどう変わるのか。

町長 消費税が10%増税になれば、少なからず各家庭に影響があると認識している。



のしかかる増税

追跡 あん質問は どうなったの？

窓口の一元化

空き地条例と空き家条例、同じ目的、同じ定義の内容なのに、2つの課に分かれている。住民にとっては不便。(平成25年3月議会)



一元化に向けた対策として、住民目線で、一つの課で対応するよう、課設置条例を変更する。(平成28年4月1日施行)

請願・意見書

意見書	提出者	内容	採決結果
安全保障法制の廃止を求めるもの	末藤議員	本法制は憲法に違反するとの指摘が相次いだ。本法制の裁決が強行された事は立憲主義を否定するものである。法改正を求める。	賛成少数で否決

意見書	提出者	内容	採決結果
消費税率10%への増税中止を求めるもの	末藤議員	景気を建て直し国民の暮らしを守るためには、消費税の増税を中止し不安を解消すべし。	賛成少数で否決

開催しました

町内2会場76人参加

11月17日 町民センター視聴覚室



質疑・意見

- 中期財政計画と第5次総合計画との整合性について。
- 公共施設老朽化による建替件数と維持管理計画。
- 高齢者見守り活動推進事業について。
- 道路転落等危険箇所。
- 消費者センターの相談内容について。
- 議会議員の費用弁償(日当)について。
- 町内会に入会しない町民が増えている現状について。
- 水道料金の値下げについて。
- 議会の公開度について。

11月18日 シーメイトホール



質疑・意見

- 柚の木学園PK2の課題。(施設面積の狭さ、場所等)
- 備品倉庫の配備内容と賞味期限品の処分について。
- 町内会の在り方と脱会、それら説明の職員の不適切さ。
- 報告会の質問時間が短い。
- 収支報告の表現の仕方。
- 町民広場・シーメイトグラウンドに日よけベンチの整備。
- 焼却場跡地公園整備における、基金と補助金の関係。
- 日当についての監査請求結果とその後の審査。
- 空環境補助金は小・中学校のクーラー設置に使えなかったのか。

開かれた議会を目指して

第6回

議会報告会を

第6回目となる今年も多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。2会場での質疑、意見、アンケートをとりまとめました。

議会、行政で検討すべき事項もございます。それらの対処結果につきましては、今後の議会だよりで回答させていただきます。

初めて参加したが、議会だよりを読むより、生の声で聞く方がよくわかった。これからも100%参加したい。

(70代女性)

資料を読み上げるだけなら見ればわかる。掘り下げて審査した内容が聞きたい。質問時間が短い。

(60代男性)

町民第一に考えてほしい。

(60代女性)

議会報告会がある事が良い。事前に質問表を出し回答を準備すると建設的な議論ができるのでは。参加した方はみな町への課題を持っていると思う。大きな声の人だけの発言にならないような取り組みを望む。

(20代男性)

開催日の検討を。夜でなく昼にしてほしい。

(60代女性)

住民との対話に もっと時間をかけてほしい。

(70代男性)

今後も続けてほしい。若い世代が参加できる方策を。事業は金額だけで判断せず、ソフト面での効果も考慮すべき。協働事業は素晴らしい取り組みだが、申請団体が増える方策を。

(20代女性)

資料の作りがわかりやすくよかった。

(70代女性)

予・決算の報告は簡潔でよかった。質疑の時間が短く、本質的議論を避けている。

(70代男性)

要望に対して前向きな検討をお願いしたい。

(70代男性)



わが町のきらっとさん!

初優勝! 冬季全国大会 志免union



ヤッター! 優勝!

バレーボール協会には、ママさんチームとジュニアチームの2つがあります。町民のスポーツ振興と公民館の融和や親睦を図る目的でジュニア大会・会長杯一般大会・公民館対抗男女バレーボール大会を開催しています。「志免union」は、平成26年4月に結成したチームです。先駆者である「マインズ志免」チームが3年前に全国大会出場の切符を獲得し、念願の夢を叶えました。「バレー王国」志免町の始まりでした。「私達も全国大

会に出たい」同じ目標を持つ会員の仲間たちが、集まりました。仕事、家事、育児に追われ厳しい練習に打ち勝ち、全国ママさん(宮城県)冬季大会(鹿児島県)と2度も全国大会出場を成し遂げました。そして冬季大会では、全国優勝で福岡県に初めて「日本一」の称号をもたらしました。家族や協会や仲間たちの応援のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。これからも頑張っていきます。



全国のチーム

みんなで徹底しよう「三ない運動」 政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止



【議会広報特別委員会】

- 発行責任者 大林弘明 議長
- 委員長 吉田大作
- 副委員長 近藤辰也
- 委員 寺田秀和
- 二宮美津代
- 大西勇
- 牟田口武史

お知らせ

次回の定例会は 3月4日予定

傍聴に是非お越しく下さい。

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。ぜひお越しく下さい。車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070

議会事務局は町役場 4階です

メールアドレス: gikai@town.shime.lg.jp

◇発行・福岡県志免町議会
◇編集・議会広報特別委員会 〒801-2292 福岡県糟屋郡志免町中央1丁目1-1
◇発行日・平成28年2月1日 ◇印刷・株式会社 三光